

ベトナムでワークショップ開催

舗装の維持メンテナンス技術など紹介

大成ロテック、ベトナム交通運輸大



大成ロテックとUniversity of Transportation and Communications, Vietnam (ベトナム交通運輸大学)は5月31日、ベトナム・ハノイ市で舗装技術に関するワークショップを開催し、100人を超える聴講者が来場した。また、ベトナム交通運輸大学、ベトナム道路

総局、在ベトナム日本大使館、国土交通省、大成建設から来賓が招待された。

同大学が、ベトナム道路舗装の現状と舗装マネジメントの取り組みについて説明をした後、同社が①日本の舗装マネジメントの現状②乗り心地の指標であるIRI (International Roughness Index) を簡易に測定

できる同社開発の「STAMPER II」と、撮影した動画から静止画像を切り出す機能を組み合わせた路面性状評価システム③日本および同社が保

有する舗装の維持メンテナンス技術④日本のプラント再生技術などを紹介した。

ワークショップの最後には、「STAMPER II」によるIRI測定のデモンストレーションが行われ、参加者がハノイ市内を走行する測定車に乗車し実体験をした。

同社の松山英吉代表取締役専務執行役員は、冒頭の挨拶で「ワークショップを通じベトナム、日本両国間の情報交換や技術、人的交流を進め、ともに、そして末永くベトナムの更なる発展に貢献していきたい」と述べた。